



### H. I. T. Communication



#### **CONTENTS**

#### 八戸工業大学第一高等学校

**p2-3** 校長就任/始業式/奨学生激励会/進路展望/ 明朗旗·敢闘杯返還式/高総体代替大会日程/航空宇宙開発利用研究会/避難訓練

### 八戸工業大学

- p4-5 新型コロナウイルス感染症対策支援関連事業:医療用空気清浄機貸与/ブルーライトプロジェクト/学チャレ2020/フェイスシールド寄贈/研究室紹介
- p6-7 名誉教授/自動車整備士8年連続100%合格/ 学生の声/保護者後援会会長就任/マスク寄贈 /しまもり SDGs プロジェクト/進学相談会予定 /オープンキャンパス/2021年度入試予定/ 8~10月主な予定

#### 八戸工業大学第二高等学校

p8-9 高総体関連/ブルーフラッグプロジェクト/校 外スケッチ/総合的な探求の時間/ MC 講演会

#### さくら幼稚園

p10-11 げんきいっぱい!さくらようちえん/みどりの風/ようちえんってこんなところ/とらんぽりん

#### 八戸工業大学第二高等学校附属中学校

- **p12** 3学年揃ってスタート/校内弁論大会/ボトルキャップ回収運動
- p12 八戸工大一高寄付/理事会·評議員会



八戸工業大学第一高等学校

#### 校長藤澤重信

座右の銘と抱負というテーマを頂いた。「悠々として急 げ」私淑する開高健の言葉である。せっかち故、悠々とは いかないが急いではいる。嘗て上司に「曲げない、逃げない、 慌てない」と管理職の要諦を説かれた。が、未だに慌てるし、 曲げたくなったりもする。ただ、逃げ場はなくなった。師 から戴いた扁額に「虚心」とある。虚心坦懐の虚心である。 心に先入観やわだかまりを持たず、ありのままを素直に受 け入れることなのだが、これだけは実践できている。とい うより深くものを考えないからなのかもしれない。抱負 は、建学の精神のもと、一高のよき伝統である「文武両道」、 「礼に始まり礼に終わる」を継承し、さらに磨きをかける こと。そして、変えるべき学校文化を変革しながら、地域 に信頼され、入って良かった、入れて良かった、働いて良 かったと思って いただける学校 にすることであ る。そして、生 徒の成長の伸び しろをより大き くして、自信と 誇りの持てる一 高にしたい。

世はコロナ禍 で、オリンピッ クが延期とな り、世界中が国



を閉ざした。ウィズ・コロナの時代を生き抜いていかなけ ればならない子どもたちにダーウィンの言葉とされる「生 き残るのは、最も強い者でも、最も賢い者でもなく、変化 に適応できる者である」を贈る。予期せぬ社会の変化に直 面しても、狼狽せず、柔軟に正しく対処できる力を身につ けさせなければならない。

### 1学期始業式・教育奨励賞表彰式

4月9日、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学年別 に始業式を実施した。藤澤校長より、各学年に対して新年度に あたっての心構えに関する訓話があった。生徒たちは、心を新 たに学校生活をスタートさせた。また、2・3年生には、3月 の修了式で実施するはずだった教育奨励賞の表彰が合わせて

行なわれた。本校 の教育奨励賞は、 各コースの学年末 成績上位者に授与 されるものであり、 新2年生は10名、 新3年生は12名に 贈られた。



### 奨学生激励会

5月25日、今 年度本校の学業 奨学生(4名)、 資格奨学生(1 名)、一般入試奨 学生(5名)の 計10名に対して 校長室にて激励 会が行われた。



#### ■学業奨学生

年間の評点平均が90点以上で各科のトップの生徒 沙希(進学コース2年/八戸東中) 石橋 彩音(建築コース2年/大館中) 水溜 遥香(公務員コース3年/湊中) 滝谷 上平 永二(建築コース3年/道仏中)

#### ■資格奨学生

資格点数の総点が規定に達した生徒 **小川 愛都**(土木コース3年/根城中)

#### ■一般入試奨学生

一般入試5科目の結果が優秀だった生徒 高松 美緒(普通科1年/三条中) 詠夢(普通科1年/白銀中) 尾下 智貴(普通科1年/白銀中) 小山 齋藤 汰気(普通科1年/田舎館中) 琉(普通科1年/白山台中) 初森

### 進路展望

世界を震撼させた新型コロナウイルスの猛威は、終息の兆 候がなかなか見えず日本経済へ与えた影響は甚大であり、本 校生徒の進路への影響が懸念される。

本校3年生の進路志望状況(6/26現在)は、進学が約 60%と過去最高を記録した。これは、希望する企業(職種) への就職が困難になると予測されることや、首都圏での感染 拡大終息が長期化するのではないかという恐れから進学希望 が助長されていると考えられる。

昨年度、全体の22%だった県内就職希望者は約17%へ、県 外就職希望者は約10%(昨年度20%)と過去最低水準(公務 員を除く)となった。例年であればこの時期、多くの企業来 訪者との対応に追われるが、県内企業を除いては非接触での 対応が主となっており、求人予定数減や職種限定の求人等の 連絡に危機感をつのらせている。これらのことから、企業選 定の際にミスマッチングが発生しないよう、可能な限り生徒 や保護者との面談を実施し、生徒個々の適性や個性を引き出 す方策を一緒に考えるよう心がけている。

先日、厚生労働省より来春卒業の高校生の就職活動開始時 期を1ヶ月間延期するとの発表があった。このことにより、就 職試験対策の充実が図れる一方、不採用になった場合には対 応が1ヶ月遅れること等の弊害も考慮しなければならない。

現在、求人受付解禁を前に進路指導部と3学年スタッフに よる県南地区の企業訪問を実施中である。訪問企業約40社の

今後の見通し や在職する卒 業生等の情報 を得て、今後 の進路指導に 役立たせた

進路指導部長 掛端 秀彦



# 令和2年度明朗旗·敢闘杯返還式



今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、青森県高等 学校総合体育大会が中止になった。開会式が行われないことか ら、青森県高等学校体育連盟の菅原文子会長が本校を訪れ、明 朗旗・敢闘杯の返還式が行われ、本校にレプリカが授与され た。連続優勝の表彰も行われ、6年連続優勝の男子レスリング 部と女子水泳部に表彰状とトロフィーが授与された。

また、3 学年による代替大会壮行式が行われ、ソフトテニス 男女、ボウリング男女、登山、バスケットボール、バレーボー ル男女、ラグビー、ボクシング、サッカー、アーチェリー男

代替大会開催日程

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、インターハイお よび東北高校選手権大会が中止となった。これを受け、青森 県高体連では、県高校総体を中止し代替え大会を実施するこ ととした。高校生アスリートには逆境の中での大会ではある が、練習の成果を発揮してほしく健闘を祈る。

部 名	開催日時	実施場所·内容	
陸上	7月18日・19日・23日・24日	新青森県営競技場	
バレーボール	7月27日~29日	マエダアリーナ	
ボクシング	7月23日・24日	青森中央学院大学	
自転車競技	7月19日	青森市スピードパーク	
アーチェリー	6月27日·28日	マエダアリーナ	
登 山	7月9日	筆記のみ各校で実施	
バスケットボール	7月23日~26日	マエダアリーナ	
ソフトテニス	6月27日	八戸東運動公園	
ラグビー	7月23日·24日: 1、2回戦 7月27日·28日: 準決、決勝	三本木農業高校グラウンド 青森市スポーツ広場	
ウエイト リフティング	7月4日	柏木農業高校体育館	
サッカー	6月13日~	各地区グラウンド(予選会) 青森市・弘前市(県大会)	
卓 球	8月10日・11日	マエダアリーナ	
硬 式 野 球	7月14日~21日	青森市営野球場・はるか夢球場・ 長根公園野球場	
ボウリング	7月11日	アオモリボウル	
ゴルフ	7月10日	十和田国際カントリークラブ	

(6月17日 現在)

女、陸上、ゴルフ男女、硬式野球の12競技の選手が行進した。 県高体連菅原文子会長から「新型コロナウイルス感染症の影響 で、県高校総合体育大会が中止になりとても残念ですが、代替 大会に向けての壮行式をやっていただき感謝いたします。この 大変な経験は、将来、絶対に役に立つときがあるので頑張って もらいたい」と選手たちに激励の言葉をいただいた。

結びに、日頃より本校の教育活動にご理解ご支援を頂いてい る関係各位の皆様に、改めて感謝申し上げます。

特別活動指導部長 石藤 壽也

### 航空宇宙開発利用研究会 スペースバルーンプロジェクト再開

5月16日、本校中庭を実 験会場に、スペースバルー ンプロジェクトの第一弾と して、パラシュート設計の ための実験が実施された。

このプロジェクトは、計 測器等を搭載した箱を大き



な風船を用いて高度20~50km(成層圏)まで飛翔させ、映像 撮影やデータ測定を行うもので、宇宙開発の手法のひとつで ある。実験は無線機やカメラを搭載したパラシュート付きの箱 を約10mの高さから降下させ、落下速度の計測やカメラテス トを行った。生徒たちは実験データをパソコンに入力し、デー タ処理なども行った。部長の浅沼春亮君(機械コース3年/ 大館中)は「コロナウイルスの影響で実験ができず、学校再 開を心待ちにしていた。今後は今回のデータをもとに改良を 重ね、北海道でのバルーン打ち上げを目指したい。」と話した。

### 避難訓練

4月20日、避難訓練が実施された。今年度の避難訓練は新 型コロナウイルス感染防止対策のため、学年ごとの訓練と なった。火災時を想定し、ハンカチやタオルを口に当て煙を 吸い込まないようにし、教室や実習室などから避難場所への 避難経路を確認しながら行われた。1年生はまだ慣れていな

い校舎での移動であった が、各所の避難口を確認 しながら冷静に移動が行 われた。非常時の避難方 法や、避難経路について 周知徹底する良い機会と なった。



### 新型コロナウイルス 感染症対策支援

本学では3月上旬より新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、医療現場に向けた 支援の準備を行ってきた。この度八戸市立市民病院からの依頼により、医療用空気清浄 機及び外来患者の体温の測定用サーモカメラを貸与した。

また、新型コロナウイルス感染症と戦う医療関係者への感謝と応援の気持ちをこめて、 ブルーライトアップおよび青色をテーマとした飾りつけを行った。

### 医療用空気清浄機貸与

2016年、本研究室の卒業研究では、八戸市立市民病院で 運用中の、移動型緊急手術室ドクターカー V 3 (本学開発) での手術をより安全におこなうためのエアーテントの開発を していた。このテントは医療用の空気清浄機を接続し、テン ト室内の空気を病院の手術室なみの清潔度を保てるものであ るが、風に弱いという弱点があった。

2017年、学生達が「八戸に寄港した外国船で未知のウイ ルスが発生した場合、このエアーテントを簡易型の隔離室と して使えないでしょうか?」と言い出した。室内使用の隔離 室であれば、強風対策の必要はない。専門家の方々にご教示 頂き、手術室に加え隔離室としての仕様を追加、様々な検証



を行い彼らは卒業論文にまと めた。その要となっているの が、医療用空気清浄機である。

2020年、彼らが想定したこ とが現実となった。2月になる と新型コロナウイルスの怖さ が明るみになってきた。この頃 はまだ八戸市には感染者が出 ていない。八戸でウイルス感染 患者が発生した とき、本学は地 域の大学として 何ができるか。 首都圏のような 医療崩壊を防ぐ こと、医療従事



者を院内感染のリスクから守ること、なにより地域の皆様に 安心してもらうことを考えた。幸いにも、卒業研究で使用し た医療用空気清浄機を検証したところ、全く問題なく機能し 当時の性能を保っていることがわかった。

3月上旬、医療機関から要請があった際すぐに貸与できる よう、学校法人と大学幹部に相談をし準備をすすめていた。

4月30日、八戸市立市民病院今院長から「V 3で実験を した医療用空気清浄機を貸してもらえないでしょうか?」と の相談があり、直ちに八戸市立市民病院へ医療用空気清浄機 とサーモカメラが貸し出された。

今後も地域の大学として地域医療を守るため、スピード感 を持ってできる限りの取り組みをしていこうと考えている。

機械工学科准教授 浅川 拓克

### ブルーライトプロジェクト

土木建築工学科と創生デザイン学科の学生達が、 八戸市内丸地区で行っている本学サテライトキャン パスへ向けた「空き家リノベーションプロジェクト」 で、6月末までの予定で『ブルーライトプロジェク ト』を実施している。

このプロジェクトは、新型コロナウイルス感染者 の治療や予防に尽力している方々への応援と感謝を 込めたもので、青色をテーマにした造形やライト アップを施し、道行く人々に向けた空間ディスプレ イを制作した。青色は医療関係者をイメージさせる 色であり、同様の意図で建物をライトアップするな どの取り組みが、国内外の各都市でも行われている。

ディスプレイの制作に参加した学生からは、医療 に携わる方を応援する気持ちとともに、学業や趣味、 アルバイトなど、学生の日常を取り戻すためにも、 新型コロナウイルスの感染拡大が早く終息すること を願う声や、少しでも多くの人に感染予防へ協力す

る気持ちが生ま れるよう、意識 啓発につながっ てほしいという 意見があった。

なお、「空き 家リノベーショ ンプロジェク ト については、



土木建築工学科西尾洸毅助教、創生デザイン学部皆 川俊平講師が学生の指導にあたっている。

### 学チャレ2020、スタート

今年は新型コロナウイルス感染 症に関する活動「今だからできる こと」他をテーマに募集が行わ れ、2団体が採択された。また、 「SDGs (持続可能な開発目標) に関する活動」をテーマに追加募 集(7/31/切)が行われている。



グループ名称	プロジェクト名	
がんばろう学生プロジェ クトチーム	がんばろう学生〜新型コロナウイルス に負けずに学生生活を楽しむために〜	
まんけんエモーション・ グループ	コロナ・超・対策	

※過去の活動等については HP をご覧ください。 https://www.hi-tech.ac.jp/news/challenge/

### 市民病院へ、フェイスシールド寄贈

メカトロニクス研究会は医療従事者の力になりたいと、感染防止を 目的として3Dプリンターでフェイスシールドを作製、6月22日に

八戸市立市民病院に50 個が寄贈された。

学生らが授業の合間を 縫って作られたフェイス シールドは一つひとつ丁 寧に仕上げられており、 合計300個が寄贈される 予定である。





### 研究室紹介 ~Part1

#### 今年度着任された先生方を2回にわたり紹介します。

### 加藤雅也研究室

~街を、ひとを、沿岸災害から守る~

日本の沿岸域は、人や物 が集中している一方で、波 浪による侵食、津波や高潮 災害などの脅威に曝されて います。そのため海岸線の 多くは右写真のように構造 物で守られ自然海浜は失わ



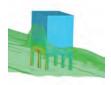
れる傾向にあります。当研究室では沿岸域を対象として、主 に波浪制御、海岸侵食、市街地における津波・高潮・強風に 関するテーマを研究しています。

波浪制御については、新たな静穏域の創出や海岸保全に資 するため、構造物の形状や配置の工夫による制御効果向上の 研究や構造物周辺に生じる3次元渦構造、エネルギー散逸機 構に関する研究を行っています。

海岸侵食は抜本的な解決が極めて困難なテーマの一つで す。砕波帯から溯上域における砂移動のメカニズムについて も研究し、平面2次元波動場計算法の改良や高精度な3次元 数値計算モデルの構築などを目指しています。

市街地における津波・高潮・強風に関する研究は建築と土 木の境界領域であり、特に津波に関しては東日本大震災以降 研究が増加、多様化しています。土木構造物に比べると建築 物は形状や配置が複雑・多様で、津波や強風と建築物(群)の

相互作用については未だ解明されていな いメカニズムや定量的な評価が不足して いる部分があります。(右図はピロティ を有する建築物と津波の相互作用を数値 シミュレーションした例)



防災という視点だけでなく、景観を含む環境への配慮も怠 らず、より良い沿岸域づくりにつながるよう心掛け研究に取 り組んでいきたいと考えています。

土木建築工学科教授 加藤 雅也

#### 本波洋研究室

#### ~マイコンシステムのプログラミング技術に関する研究~

当研究室では、マイコンを利用した IoT やロボットのプログラミング技術の 研究、および子ども向けのプログラミン グ学習教材の開発を行っています。



IoT ではモノの状態を扱うため、同じ プログラミングでもデータ主体の Web

システムなどとは大きく異なります。当研究室では、モノの 状態を扱う IoT やロボットの主要技術であるデジタル入出 力、アナログデジタル変換、PWM / UART / I2C / SPI / BLE 通信などといった、センサーやアクチュエーターと のインターフェースに関わるプログラミング技術について 研究をしており、obniz、M5stickC、micro:bit、Arduino、 RaspberryPiなどのマイコンを使用しています。

また、これらの技術を子ども向けに簡単にアレンジしたラ

ジコンカーや4足歩行ロボットのような動くものを通して楽 しく学べるプログラミング教材も開発しており、開発した学 習教材は、本学主催の公開講座や出張講義としても展開して おり、地域の方々にぜひ活用いただきたいと思います。

学生の皆さんには、学んだ知識を応用して「とにかく何か を作ってみて」さらに「そのつくり方を Output (ドキュメ ント化)」し、メーカー(ものづくりをする人)としてのメ ンタル・足腰・筋肉を鍛え、社会に飛び立つことを期待して います。

私自身は、研究を通 してプログラミング技 術の高度化に貢献する とともに、学習教材開 発を通して未来の技術 者の裾野を広げる活動 にも注力してまいります。



洋 システム情報工学科講師 本波

### 宇野あずさ研究室

#### ~風景は誰のもの?-公共性と表現の模索による景観形成~



当研究室では現代美術を専門 に、インスタレーションという空 間全体を作品化する手法を手掛か りにして、表現と空間認識の可能 性について作品制作や発表を通じ て取り組んでいます。

社会の動向と密接な関係にある デザインや美術は、近年の情報化

が拡充する社会と連動するように、様々な領域を横断しなが ら表現の幅を広げています。こうした時代にデザインや美術 に携わるために何が必要なのか、さまざまな地域や学科と連 携できる本学の強みを活かしながら、「多くの人の集まる場 所=公共のあり方」から現代における場所の価値を捉え直し、 研究活動を展開していきたいと考えています。

学生たちがこれら の活動を通して、美 術やデザインを切り 口にした作品が完成 した時の喜びや、生 みの苦しみ、そして 知らない土地ででき ることの楽しさや異 文化のコミュニケー ションの大変さな ど、生涯を通して追 求できるような「何 か」を発見できるよ う多くの経験を積む ことをサポートして いきたいです。





創生デザイン学科助教 **宇野あずさ** 

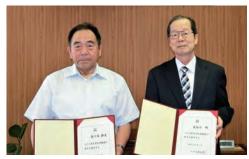
# 苍穹 八戸工業大学

### 名誉教授の称号授与

6月17日、長谷川明氏、佐々木幹夫 氏、四竃樹男氏の3名に本学での研究 活動や学生への教育指導、地域連携な どの発展に寄与した功績を称え、坂本 禎智学長より名誉教授の称号が授与さ<br/> れた。(四竈氏は県外在住のため欠席)

#### ◇長谷川 明 氏(写真右)

1976年土木工学科(当時)着任。構 造工学、橋梁工学、地盤工学が専門。 研究を生かした防災にも努める。感性 デザイン学部長、学長等を歴任。カザ フスタン共和国ユーラシア国立大学客員 教授、中国瀋陽工業大学名誉教授とし て国際交流や人材育成にも尽力された。



◇佐々木 幹夫 氏 (写真左)

1978年土木工学科(当時)着任。水 工水理学、自然災害科学が専門。県内 各地の河川や海岸、湖、雪山等をフィー ルドに調査研究を行い、浸水被害の解 消、川の治水や防災に貢献。学生から の信望も厚くソーラーカーの国際大会 やスキー部の顧問も務めた。



◇四竃 樹男 氏

1977年科学技術庁金属材料技術研究 所に勤務。後に東北大学付属量子エネ ルギー材料科学国際研究センター長と して、世界各国との共同研究を主導。 2015年本学着任。地域産業総合研究所 所長として、経験と見識を生かし教育 や技術開発など本学の発展に寄与した。

### 自動車整備士登録試験8年連続100%合格

令和元年度第2回自動車整備士技能登録試験において、本 学機械工学科自動車工学コース修了生14名が8年連続100% 合格の快挙を達成した。

本学自動車工学コースは高い教育力が認められ、令和2年



度から自動車技術総合機構の就職指定校に認定された。全国 の自動車整備士養成施設で指定校は13施設あるが、東北では 本学と仙台の専門学校含め2施設だけである。

#### ~合格者から~

「当初は合格できるだろうかとプレッシャーに押しつぶさ れそうでしたが、最後まで諦めずに仲間と支えあいながら勉 強し続けたことで、8年連続100%連続合格を果たせたと思 います。今では、かけがえのない思い出です。」

蛯名 雄真(自動車技術総合機構就職)

「8年連続合格ということをあまり意識していませんでし た。毎日の生活の中で仲間たちと互いに教え合い高めあった ことが、結果に繋がったと思います。たいへん光栄です。」

佐藤 朋輝 (スズキ株式会社就職)

### 学生の声

本学でも新型コロナウイルス感染拡大防止と新しい生活 様式への取り組みが進んでいます。(本学 HP 参照)

学生の皆さんに、コロナ禍の中でのキャンパスライフに ついて聞いてみました。

#### ①進級した近況について

昂 大:放課後は課題のための勉強やアルバイト、時

間が空けばアウトドアを楽しんでいます。

璃乃亜: 2年生になったら専門科目が増え大変です。 課題をこなす時間が増えました。

#### ②新型コロナウイルス感染症拡大防止の社会状況について

昂 大:第二波が懸念され、気を緩めることができま せん。3密を防ぎ、自分だけでなく周りの大

事な人の命を守りたいです。

璃乃亜:一人ひとりの意識が大切です。手洗い・うが

い・消毒など、自分ができることは徹底して

行いたいです。

#### ③いま頑張っていることや後輩へのメッセージを

昂 大:オープンキャンパスに参加し進学を決めまし た。自然が豊かで海鮮などの食べ物も美味し く、好きな街です。専門科目が増えて大変で すが、実験は興味深く面白いです。

璃乃亜:特待生制度を活用して入学しました。普通科 出身ですが、先生や先輩、友達が支えてくれ るので安心ですよ。在学中にたくさんの資格 取得に挑戦したいです。



柳杭田 昂大 電気電子工学科2年 岩手県・岩手県立 久慈東高等学校出身



みうら りのま **三浦 璃乃亜** 土木建築工学科2年 青森県・青森県立 八戸東高等学校出身

### 保護者後援会代議員会

#### ~学生の皆さんの活動を応援します~



新型コロナウイルス感染拡大防止対策の ため6月1日~10日、令和2年度保護者後 援会代議員会が書面会議で開催され、令和 元年度事業報告・決算、令和2年度役員委 嘱・事業計画・予算他が承認された。新会 長として久慈 剛氏(写真)が選出された。

### マスク寄贈

6月上旬、㈱下徳商店様(代 表取締役 下斗米一泰氏・写真中央) よ り有効活用して欲しいと本法 人にマスクの寄贈があり、代表 して法人事務局長と大学事務 部長が受け取りました。教職員 一同心よりお礼申し上げます。



### しまもりSDGs実践プロジェクトスタ

本学は、島守田園空間博物館運営協議会の協力を仰ぎ、島 守地区が持続可能な社会を構築する検証に適した地域と考 え、SDGsの達成を目指した教育・研究活動を7月より実施

本プロジェクトでは、地域でのライフラインの維持・エネ ルギーの活用や、生態系・環境の評価と利用、さらには地域

文化を深掘り し、まちづく りのための人 材育成につな げるまでの幅 広い取り組み を行う。



### 進学相談会予定

開催日	時間	開催地	会 場	
9月7日(月)	15:30~18:30	青森	リンクステーションホール青森	
9月8日(火)	14:00~18:30	八戸	八戸プラザアーバンホール	
9月11日(金)	15:00~18:30	秋田	アルヴェ	
9月15日(火)	15:00~18:30	盛岡	ホテルメトロポリタン盛岡本館	
11月11日(水)	15:00~18:00	秋田	アルヴェ	
11月26日(木)	15:00~18:00	盛岡	ホテルメトロポリタン盛岡本館	
12月10日(木)	15:00~18:00	弘前	アートホテル弘前シティ	
12月11日(金)	15:00~18:00	八戸	八戸プラザホテル	
10月27日(火)	14:00~18:00	青森	はまなす会館	
10月29日(木)	13:30~17:30	むつ	むつ来さまい館	
11月5日(木)	14:00~18:00	弘前	弘前市民体育館	
11月10日(火)	14:00~18:00	八戸	きざん八戸	

# オープシキャンパス等の予定

オープンキャンパスと入試対策講座を実施いたします。 詳細は、大学HPで随時ご案内します。多くの方のご 来場をお待ちしています。

◎オープンキャンパス開催日

2020年8月9日(日)、2021年3月14日(日)

※イベントの日程や内容は変更の可能性があります。 詳しくは大学HPでご確認ください。

※八戸工業大学ホームページ https://www.hi-tech.ac.jp/



### 2021年度入試予定

入試区分		願書受付期間(必着)	試 験 日	
総合型選抜試験	第1クール	9月15日(火)~9月25日(金)	10月3日(土)	
	第2クール	11月13日(金)~11月20日(金)	11月28日(土)	
	第3クール	1月25日(月)~1月29日(金)	2月10日(水)	
	第4クール	3月1日(月)~3月5日(金)	3月10日(水)	
学校推薦型 選抜試験	指定校制	11月1日(日)~11月6日(金)	11月14日(土)	
	公募制	11月24日(火)~12月4日(金)	12月14日(月)	
一般選抜試験	前 期	1月4日(月)~1月22日(金)	2月2日(火)	
	後 期	2月15日(月)~2月26日(金)	3月5日(金)	
大学入学共通 テスト利用 選抜試験	前 期	1月4日(月)~1月26日(火)	大学入学共通テスト ①2021年1月16日(土)・ 17日(日) ②2021年1月30日(土)・ 31日(日)	
	中 期	2月1日(月)~2月14日(日)		
	後 期	3月1日(月)~3月17日(水)		

### 主な予定

7月30日~8月4日 前期定期試験 8月5日~9月15日 夏季休業 8月8日~17日 大学窓口休業

前期補習・再試験期間 9月7日~14日 9月12日・13日 保護者懇談会 (八戸会場のみ) (希望する保護者との電話懇談は10月開催予定)

10月5日~8日 履修登録修正期間

### 第73回青森県高等学校総合体育大会関連





新型コロナウイルス感染拡大の影響で中 止となった青森県高校総体の代替大会が、 6月下旬から8月上旬にかけて、全35競技 中24競技で開催される予定となっている。 感染リスクを拭えないため、陸上、水泳、 ボート、剣道、レスリング、なぎなたは開 催されず、集大成を飾れずに引退する3年 生も出ることになった。代替大会開催の最 大の目的は、3年間部活動に励んできた成 果を発揮する場の確保であり、史上初の中 止に見舞われた高校生の「晴れ舞台」確保 へ向けた動きは、全国に広がっている。

すでに行われた大会では、男子テニス部 の佐々木満規君(カレッジコース3年/湊 中・写真右) が男子シングルスで優勝を果た し、女子サッカー部は3位と健闘した。 佐々木満規君は、「ずっと目標にしていた高 校総体という形ではなかったが、今までの 成果を発揮できる場を準備していただけた ことに感謝している」と満足そうに語った。

### 高校総体ポスター 最優秀賞に輝く

第73回青森県高校総合体育大会ポスターコンクールにおいて、最優秀賞に美術コース 2年生の林芽育さん(七百中)、優秀賞に佐々木梨乃さん(八戸二中)、山﨑柚羽さん(十 和田東中)が選ばれ、6月11日に本校において表

彰式が行われた。

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い高校総 体は中止になったが、最優秀賞の林さんの作品は 自転車競技をモチーフとし、スローガンである 「突き進め まだ見ぬ先のステージへ」を見事に 具現化されている。力強く突き進む姿は迫力があ り、爽やかな色合いで夏の大会を演出する画面に 仕上がっている。





# 情報ビジネスコース ブルーフラッグプロジェクト







5月21日と6月3日の両日、本校情報 ビジネスコースの1年生が、ブルーフ ラッグプロジェクトに協力参加した。

本プロジェクトは、新型コロナウイル ス感染拡大を受け、患者の治療にあたる 医療従事者への感謝と応援の気持ちを表 すために青い旗を掲げるもの。八戸市の 市民団体「まちぐみ」が発案し、八戸市 の中心街で活動を広めている。

参加した生徒は、事前に校内で旗を手 作りし、当日はカネイリ番町店、モリタ カバン、マチニワ、八戸ポータルミュー ジアムはっちに旗を掲げた。

生徒たちは「社会のために頑張ってい る人たちに、感謝の気持ちが伝わればい いなと思う」、「このような活動を知らな い人に広めるためにも、また様々な活動 に参加していきたい」と感想を述べた。

### 美術コース 校外スケッチ

6月1日・2日、美術コース2・3年生 が校外スケッチを実施した。今年は三陸復 興国立公園に指定されている蕪島周辺と葦 毛崎周辺の2カ所に分かれ、自然の生み出 す美しいコントラストを題材にスケッチした。

両日とも晴天に恵まれ、蕪島周辺では鳥 居の赤を鮮やかに描いたり、海に浮かぶ ヨットや趣のある路地を細密に描いたりす る生徒が多くいた。

葦毛崎周辺では、展望台や鮫角灯台の建 造物をはじめ、太平洋をぐるりと見渡す眺 望を画面に収めようと生徒たちはそれぞれ 気に入った場所で集中して制作に取り組ん



蕪鳥周辺





葦毛崎展望台



### 持続可能な社会を創造できる人間になるために 総合的な探究の時間

2学年では、全コースで「総合的な探究の時間」に取り組んでいる。探 究とは、生徒が興味を持ったことについて自分で課題を設定し、情報を集 め、整理・分析して、まとめて発表することである。今年度は、学年全体 の大テーマとして「SDGsの実現」を掲げ、医療や福祉、経済や環境、IT 技術など様々な側面から、持続可能な社会を実現するという理念に基づき 12のゼミに分かれて活動をしている。

中でも、SDGsのゴール1「貧困をなくそう」やゴール10「人や国の不 平等をなくそう」を基本テーマに取り組んでいる「子ども食堂」のゼミで は、三八地域で子ども食堂を実践している方々をお招きしてお話を聞いた り、フードパントリーのボランティアに参加したりするなどして、地域の 子ども食堂の現状を学んでいる。また、ゴール3「すべての人に健康と福 祉を」を基本テーマにしている医療系のゼミでは、医療従事者の方々をお 招きして勉強会を開いたり、コロナウィルス感染の影響について社会の動 向を見極め、それが医療に及ぼす影響について考察したりするなど、実践 的な活動を重視している。

今後、各ゼミでは二高祭において、途中経過や今後の活動方針の報告を ポスターセッション形式で行う予定である。



- ドパントリーボランティア



骨折時のギブス体験(理学療法+講演会)

### カレッジコース

### MCクラス講演会



5月26日、八戸第二養護学校の小野裕樹 先生を講師に招き、「障害者スポーツと障 害児教育に学ぶ |と題し、メディカルカレッ ジクラス3年生を対象に出張講義を行っ た。

講義では、小野先生が障害児教育・障害 者スポーツを通じて感じたことや学んだこ と、また大人として働くために必要な考え 方などを話された。

生徒は「障害があるからできないと考え るのではなく、工夫したり周りが協力した りしてできるようにする、という考え方が すごく良いと思った」「障害の有無に関わ らず、一人ひとりに向き合い、その人の状 況や環境を考えて自分ができることや必要 なことをしている、ということを知り、私 も将来は医療従事者として相手を大切にで きる人間になりたい」と感想を述べた。





### 日々の生活での成長

幼稚園に入園した頃「かあちゃ~ん」 と泣きながら登園していた我が子。その 期間が長く、不安になることもありまし たが、担任の先生やバスの先生からの言 葉に励まされながら毎日送り出してきま した。年長組になった今では登園するこ とが楽しみで我先に!とバスに乗り込ん で行くようになり、泣かずにできること が増えました。

そんな息子の幼稚園での楽しみは、空 き箱や空き容器を使った工作です。毎日

のように作品を持ち帰っては「おともだ ちといっしょにつくったんだよ。」「これ はこうやるんだよ。」と、楽しそうに説 明してくれます。その日の幼稚園での出 来事を聞くのが、私の楽しみのひとつに もなっています。

さくら幼稚園で過ごせる日も残り少な くなってきました。毎日の生活の中でお 友達や先生との楽しい思い出をたくさん 作って欲しいです。



ゆり組 たにざきたいかくんのお母さん 谷崎 真里さん



# ちえんってごんなとこ







「ぼくたち・わたしたちは ひあそびをしません」



**「おいしいトマトか** できますように」



#### 年少組 6月4日(木)

事あるごとにもめるA君とB君が、昨 日は珍しく一緒に電車を繋げて遊んでい た。しかし、A君がトイレに行っている 間にB君が線路を壊してしまった。落ち 込んで泣いているA君に謝るようB君 を促すも聞き入れようとしなかった。自 分も同じ様にされたらどう思うか一緒に 考えていたところ、突然 A 君の方を向い て「ごめんね」と言うことができた。し かし、A君は絶対に「いいよ」と言わな かった。そして、今日も電車遊びをして いた二人。突然、B 君が A 君の線路を取 り、注意されると大声で泣いた。どうや

らA君のように線路を繋げて 丸くしたかったようだ。一緒に 作り、納得がいくと静かに遊 び始めた。日々の生活を通し て、謝ることや許すこと、泣か ずに言葉で伝えられるように「こむぎこねんどだよ。 援助していきたいと思った。



びよ~ん!」



#### 年中組 5月26日(火)

自由遊び時間、広告紙で細い棒 を作りたいと一人の男児が声を掛 けてきた。途中まで手伝い最後は 自分で完成させてあげたいと思い 手を離したら、棒が太くなってし まった。自分の思い通りにいかな「Taboいキュッキュ! 行った。給食準備の際も誰 かったことに納得できなかったよ

うで、再び私のところへ広告紙を持って きた。今度は最後まで手を添えて完成さ せた。「できたね」「さっきより細くてかっ こいいんじゃない?」と声を掛けると満足 そうにうなずいた。その後も、黙々と作り 続け、5本ぐらい棒を作りあげると「でき

> たよ」と見せにきた。日頃の自 信なさそうな表情とは打って変 わって、「一人でできた」「細く 作れた」という自信が見られた 嬉しい瞬間だった。これからも -つずつ積み重ね、出来ること を増やしてあげたいと思った。





じょうずでしょ♡」

周りの子が椅子を持って きて座っていても、ぼんや り窓辺で外を見ている一人 の男児。少ししてからよう やく気付いて椅子を取りに よりも早くトイレに行くが、

別のことに気を取られたり、ぼんやりし ていたり。結局、準備が終わり席に着い たのは最後だった。いろいろな場面で ぼんやりしていることが多く周りから遅 れるので、皆の行動に気付かせるように している。そんな彼がサッカーでは、人 が変わったようにボールに向かい走って いった。好きなことにはアンテナが働き、 行動できるようだ。違う一面を見ること ができた。これから皆が興味を持って取 り組んでいけるような環境作りや刺激を 与えていきたい。どう変わっていくのか、 楽しみだ。

2020(令和2年)

### 3つの学年が揃ってのスタート

令和2年4月、附属中学校は1年生を迎え、3学年揃ってのスタートを切った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4 月は分散登校が続いたものの、5月から本格的に授業が再開し、各学年の目標達成に向けて 活動が進んでいる。

1年生は、中学生としての自覚を高めるため、「掃除・挨拶・5分前」を心得として学校 生活を送りながら、家庭学習の定着を図るための自主学習ノートを毎日実施している。

2、3年生は、総合的な学習の時間を活用し、SDGs (持続可能な開発目標)をテーマ に研究発表を行っている。今後はさらに、様々な研究機関や地域の方々とオンライン授業を

展開していく予定である。さらに3年生は、学校行事を 主体的に運営し、最高学年としての役割を果たしながら、 次のステップである高校生に向けての力をつけていきた いと考えている。

今後は、状況を見ながら可能な範囲で学校行事を実施 し、学年間の連携を深めていきたい。





### 校内弁論大会



6月3日、校内弁論大 会が行われた。学年弁論 大会で選抜された計6名 の弁士による発表は、甲 乙つけがたい素晴らしい ものであった。審査の結

果、沢口響花さん(写真: 戸来小/2年)の「今の状況に ついて考えること」が第1位を獲得し、八戸市中学校お話 弁論大会に出場することが決定した。沢口さんは、コロナ ウイルス感染拡大のさなかにSNSにアップされる誹謗中 傷について触れ、ウイルスに感染した人を罪人扱いする発 言に疑問を呈するという内容であった。

また、第2位の相畑陽人君(種差小/2年)は、「本当 の友達とは何か」という演題で、友達とは何かを聞いてい る人に真っ向から問いかけ、主張がすっきりと伝わる内容 であった。

聞いていた生徒は、「様々なテーマの発表を聞くことが できて視野が広まった。」と感想を述べた。日頃見過ごし ていたことを改めて考える良い機会となった。

### ボトルキャップ回収運動

1年生は、新型コロナウイルス感染拡大防止により社会 的距離を取らざるを得ない現状の中でも、何かできるボラ ンティア活動をしたいと、学校や家庭などで集めたペット ボトルのキャップを回収する「ボトルキャップ回収活動」 を始めた。

この活動は、これまで燃えるゴミとして捨てられていた キャップをリサイクルすることで、CO2の削減に寄与する だけではなく、キャップを質の高い素材としてリサイクル 業者に買い取ってもらい、その売却収益を NPO 法人「世 界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)」に寄付し、 感染症予防ワクチンを購入して世界の子どもたちの命を救 うために活用してもらうものである。

生徒らは回収ボックスとポスターを制作し、各教室に設 置し掲示した。この取組みをいずれは高校生にも呼び掛

け、6年間継続して活動 していきたいと考えてい る生徒もおり、中学校の 新たな伝統とする動きが 高まっている。



#### ~ご寄付のお願い~

#### 「八戸工業大学第一高等学校教育基金」

本校では、生徒が社会を逞しく生き抜き、社会に 貢献できる人材となるため、日々教育内容の改革を 進めているところです。つきましては、生徒のため 本校が更なる発展ができますようご協力をお願いい たします。

なお、詳しくは (寄付金額、税制上の優遇措置等) 事務局までお問い合わせください。

#### <事務局>

〒031-0822 青森県八戸市白銀町右岩淵通7-10 八戸工業大学第一高等学校 事務室内 Tel 0178 (33) 5121/Fax 0178 (34) 3942

表 紙 八戸工業大学第一高等学校

#### 理事会・評議員会

#### ◇4月28日 理事会

- ・「学校法人八戸工業大学固定資産及び物品調達規則」改 正に関する件
- ・「学校法人八戸工業大学高等学校奨学規程」 改正に関す る件

#### ◇5月29日 理事会・評議員会

- ・令和元年度監査報告・事業報告・決算に関する件
- ・八戸工業大学「学則」変更に関する件
- ・「八戸工業大学大学院工学研究科委員会規程」改正に関 する件
- ・「八戸工業大学教授会規則」改正に関する件
- ・八戸工業大学「名誉教授の称号」授与に関する件

#### ◇6月28日 理事会

- ・学校法人八戸工業大学資産運用に関する件
- ・「学校法人八戸工業大学組織等に関する規程」改正に関 する件
- ・八戸工業大学第一高等学校教育基金に関する件